



FAS 住まい新聞

発行責任者
㈱福地建装

北斗市中野通 324
Tel.0138-73-5558

～お施主様が求める家とは～

◇ 建築施工会社の本音 ◇

家づくりに携わるほとんどの人は「良い家を作りたい」「お施主様に喜んでもらいたい」と真剣に考えています（全ての人がそう考えていることを望んでいますが・・・）。しかし、結果を見てみますと、全てが良い家で、全てのお施主様が喜んでいるとは言えない状況なのです。どうしてでしょうか？

建築を行う側は、いつの間にかお施主様側の気持ちを忘れてしまい「自分の考える、お施主様が喜ぶ家」を押し付けてしまっているように思います。たくさんのお施主様を作ってきて「家はこうあるべき！！」といった考えが強すぎ、お施主様の要望を簡単に否定してしまうことがどうしてもあるのです。この意見の大半は正しいのですが、自分の考えを否定されたお施主様はストレスをためてしまいます。このストレスが蓄積されると最終的にクレームなどのトラブルに発展してしまうのでしよう。

建築する側は、お施主様の要望を一度はしっかりと受け止め、要望を実行した際のリスクや問題点、コストなどをしっかり説明し、最終的な決断はお施主様に行ってもらえるように努力する必要があります。もちろん経験の中でやってはいけないと判断できる要望があった場合、その理由をしっかりと説明し、安易に妥協しない努力も必要となります。

◇ 欲しい家のイメージを固めましょう ◇

家を建てるにあたって、ロケーション（建築場所）、デザイン、価格、性能、間取り、設備と、こだわる部分は様々だと思います。自分がこだわっている部分をまず固める必要があります。「自分が一番大切にしているのはここなのです。」としっかり建築する側に伝えることで、打ち合せがスムーズに進む場合が多くあります。

家づくりは夢を現実にする作業ではありますが、予算が常に付きまわってきます。お施主様はもちろん建築する側も、ゴージャスな家を作りたい希望はあるのですが、建築後の生活に支障が出ては意味がありません。予算とこだわり、この二つを明確にした上で打ち合せを始めて行きましょう。

建築する側はこの二つの項目をしっかりと聞きし、できる限り希望を実現する努力をする必要があります。

◇ 施工会社との関係は良好に ◇

施工会社も人間です。気持ちの良いお客様だと、思わずサービスしたくなる場合があります。もちろん我慢は禁物なので、気になることはしっかりと質問する必要がありますが、上手に付き合うと得することは間違いありません。施工会社の笑顔の数だけ現場の雰囲気は向上しますので、是非意識して頂きたいことの1つです。良い関係で良い家を見て、施工会社と一生のお付き合いを続けて行くことが快適に生活する秘訣となります。

◇ 家の寿命にはこだわりを ◇

これまで家は使い捨てのように、建てられては壊されを繰り返してきました。エネルギー問題（資源の枯渇）などで資材が高騰を続けていることで、これからは家を長く使うことが前提になりました。日本の家づくりの考え方が大きく変わったのですが、家の寿命の判断はとても難しい部分です。

同時にエネルギー問題も深刻で、家の省エネルギー化も必須項目となりましたが、これもお施主様から見た感じではよくわからないと思います。後悔しないためにも、いろいろな会社を比べていただき、良い家にめぐり逢える努力が大切です。成功をお祈りしています。
(著者 福地 智)

冬の知恵袋

スウェードの汚れ取りには

スウェードは触り心地のいい素材だけど、汚れが目立つのが難点だね。だけど大丈夫。消しゴムを使って簡単にできる汚れの落とし方があるんだよ。

消しゴムは茶系のものがベストだけど、あるものでかまわないんだ。ただし、鉛筆の汚れが残ってるのは取っておかないと駄目なんだよ。スウェードのコートや靴の、汚れのひどいところを消しゴムでゴシゴシこすってやるんだ。ウソみたいに汚れがすっと浮いてくるんだよ。あとは専用のブラシで毛並みを整えてやるだけなんだ。ブラシの代わりにやわらかい歯ブラシを使ってもいいよ。

スウェードの毛のキメによって消しゴムの硬さを替えると、もっときれいになるからね。



ファース本部のオフィシャルサイトは・・・

空気サラサラ

検索